



この季節らしい寒い日が続いています。今は期末考査も終わりほっとしていることでしょう。体調管理は大丈夫ですか？時節柄、家にいる機会も増えると思いますが、こういう時期こそ何か一冊本を読んでみましょう。

川高図書館では冬休み中の図書の貸出は行っていないませんが、補習期間中も図書室は開けているので、学習などに活用してください。



【新任の先生】

『答えのない道德の問題 どう解く？ 正解のない時代を生きるキミへ』
(やまざき ひろし 著)

福祉科 神明 由佳 先生



「うまくいくかわからないのに、どうして努力ってするんだろう」この問いに、あなたならどう答えますか。私がこの本を読んで息子に同じ質問をしてみると、「やってみないとわからないから」と即答されました。なるほど、確かにそのとおりです。うまくいくかどうかは、実際にやってみなければ本当にわかりません。とてもシンプルですが、力強いその言葉に、私自身も改めて気づかされました。

『答えのない道德の問題 どう解く？』には、このように大人でも考え込んでしまう問いがたくさん載っています。例えば、「花を踏んだらかわいそう」と子どもに言いながら、庭の草はむしっているのはなぜだろう、という問い。大切に自然と、そうでない自然があるのはどうしてなのか。読みながら、私も日常の中で矛盾したことをしていないか、ドキッとしました。

この本に出てくる問題には、はっきりとした正解はありません。でも、だからこそ考える価値があるのだと思います。答えは一つでなくてもいい。自分なりの考えを持っておくことが、これからの時代を生きていくうえで、きっと大切になるはずです。

絵本のように読みやすい構成なので、読書が苦手な人でも読みやすい一冊です。一人で考えながら読むのも、友だちと話し合いながら読むのもおすすめです。ぜひ手に取って、あなた自身の答えを探してみてください。



〔本の紹介〕

今回は川之石高校図書館にある、過去に映像化されたことのある小説を二つ紹介します。

『舟を編む』（三浦 しをん 著）

出版社の営業部員であった馬締（まじめ）光也は、勤めている出版社の営業部では他人の言うことを額面通りに受け取るなど、対人コミュニケーション能力の低さから厄介者扱いを受けていたが、言葉への鋭いセンスを買われ、辞書編集部に引き抜かれた。定年間近のベテラン編集者、日本語研究に人生を捧げる老学者、辞書作りに情熱を持ち始める同僚たち、そして馬締のよき理解者でありその後結婚する、運命の女性。

2012年本屋大賞を受賞し、その後映画化、テレビアニメ化された。



『みをつくし料理帖』（高田 郁 著）



神田で江戸の人々にはなじみの薄い上方（＝関西）料理を出す「つる家」。店を任せられ、調理場で腕を振るう濡（みお）は、故郷の大坂で、少女の頃に水害で両親を失い、天涯孤独の身であった。東西の味の好みや水の違いに苦心しつつも徐々に道を切り拓く濡。しかし、そんなある日、彼女の腕をねたんだ名料理屋「登龍楼」が非道な妨害をしかけてきた。料理だけが自分の仕合わせへの道筋と定めた濡の奮闘と、それを囲む人々の人情が織りなす、全10冊の連作時代小説。

テレビドラマ化（黒木華主演のNHK版・北川景子主演のテレビ朝日版）、映画化（松本穂香主演）された。



〔11月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

11月1日～11月30日

1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	合 計
5冊	0冊	10冊	9冊	1冊	2冊	0冊	27冊

〈個人別〉

1位 7冊 吉本 陽向（2-1）

2位 3冊 菊池 心希（2-2）



「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができる。」

ウォルト・ディズニー（ディズニーランドの生みの親／1901 - 1966）